

モンゴル健康大学との学術交流協定

島田和幸¹⁾, 杉原一正²⁾

1) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 神経病学講座 人体構造解剖学分野

2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療科学専攻 顎顔面機能再建学講座 顎顔面疾患制御学分野

今回、私と杉原教授の二名でモンゴル健康大学の歯学部、Bio-medicine 学部の二部局と鹿児島大学歯学部間との学術交流に関する協定締結の為に平成26年1月12日から14日にかけてモンゴルの首都であるウランバートルを訪問してきました。今回の締結に際して鹿児島大学歯学部とモンゴル健康大学との橋渡しをしていただいたのは Dalhsuren Shine-Od 先生で彼女は徳島大学大学院への留学中に私の教室で担当している解剖実習の研修に来鹿されたことがその始まりです。彼女は肉眼解剖学を母国でも専攻する医師であり、日本の解剖学、特に系統解剖学教育に興味を持っておられた先生で鹿大の歯学部解剖実習にわずかな期間でありましたが参加研修の為に来鹿されました。彼女は昨年(平成25年)3月に、徳島大学で博士の学位を取得後に帰国され母校で肉眼解剖学教室の講師として勤務されています。帰国後も私と解剖学教育の手法や臨床解剖研究についてお互いに連絡を取り合っている先生です。その話の中でモンゴル健康大学との学術交流の話が浮上し、昨年(平成25年)の10月27日から数日、私と杉原先生及び研究科長の鳥居先生の三名でモンゴル健康大学の歯学部や Bio-medicine 学部を訪問視察し、その際に協定の準備を行った結果、今回の再訪問となり締結調印式の運びとなりました。初日の1月12日は飛行機の到着が遅れましたが無事にジンギスカン国際空港に着くと Shine-Od 先生と彼女の友人である解剖学教室の先生が我々を迎えに来てくれていて、早速この日の宿泊先まで送っていただきました。その夜は Bio-medicine 学部、解剖学教室の先生方との夕食会に招待され解剖に関するモンゴルでの教育状況や研究内容等の会話で花が咲き楽しい夕食会となりました。締結の13日は朝の室外気温がマイナス23度という日でしたが室内は暖かく大学本部で午前10時より Academic Council Room で調印式に臨みました。調印式には Batbaatar Gunchin 学長、副学長で国際交流担当の Am-

arsaikhan Bazar 教授, Ariuntuul Caridkhuu 歯学部長, Tseren Tuushinjargal Bio-medicine 学部長, その他歯学部関係者が列席する中で国際担当の職員の司会に始まり厳かな調印式が始まりました。まず始めにモンゴル健康大学学長による我々への歓迎の言葉、今後の鹿児島大学との協定校としてのモンゴル側の期待等のご挨拶があり、次に私も鹿児島大学歯学部としての挨拶を行いました。その後に歯学部、Bio-medicine 学部長と私とでお互いの協定書へのサインを行い、それぞれ協定書交換が行われ(写真①)、次に鹿児島大学歯学部より歯学部ロゴ入りの楯を両学部長に贈呈し(写真②)、また鹿児島大学歯学部よりモンゴル健康大学へ薩摩焼きの花瓶を学長に贈呈して無事に厳かな調印締結式が終了し、その後、今後の両学部の発展を祝してシャンパンでの乾杯が行われて無事式は終了いたしました。締結後の昼食はモンゴル健康大学学長の主催による昼食会でその中で、今後の留学生の交換交流等について色々と話し合いを行う機会も得ました(写真③)。その際、モンゴル健康大学が鹿児島大学へ多く留学生を送りたい旨を熱く学長は語られていました。大変期待されていることを実感させられました。昼食後は大学本部と少し離れている歯学部校舎へ歯学部長の車で移動して、歯学部長室にて歯学部長及び口腔外科の Khentii Lkhamsuren 教授, Purevsuren Davaadorj 先生並びに歯科病院長の Oyun-Enkh Puntsag 先生などと会談をしました。先生方の多くは以前に日本に留学された経験があり、我々とは日本語での会談でしたのでより意志の交流が図られました。そしてその夜は歯学部長、口腔外科の教授、講師及び副院長の先生方による夕食会に招待されました。その時の会話の中では今年度(2014年)モンゴルで開催される口唇口蓋裂学会の話等が話題となり会話が進み盛り上がった夕食会となりました。最終日の14日まだ夜も明けきれない午前6時に Shine-Od 先生がホテルに迎えに来ていただき

彼女の車で空港まで送っていただき無事帰国の途につきました。

今回の学術交流締結に向いて思ったことはかなりモンゴル健康大学歯学部, Bio-medicine 学部では鹿児島大学との協定に期待を持っている様です。是非今後このモンゴル側の期待に沿える様に, また今後の鹿児島大学歯学部の国際, グローバル化に向けて期待に沿える様に努力し可能な限り交流を末永く継続していただけることを希望いたします。



写真① 調印式の風景



写真② 歯学部長と鹿児島大学歯学部のロゴの入った盾を贈呈
(右より学長, 歯学部長, 島田, 杉原)



写真③ モンゴル健康大学学長主催の昼食会
(モンゴル側からは学長, 歯学部長, Bio-medicine 学部長, 国際交流担当副学長, 歯学部長顧問)